

# 令和 6 年 6 月 定例会 一般質問

通告 3

**質問 釧根トライアングル整備構想 3 路線の優先順位**

**答弁 今後も各関係機関と協力体制を維持し計画を進めます**

9 番 たかはし よしさだ 高橋 善貞 議員

【質問：高橋 善貞 議員】

9 番、高橋善貞です。地域高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会は機能しているのかを主題に 3 点に分けて質問させていただきます。

これまで平成 29 年 3 月定例会、令和 3 年 6 月定例会の 2 回、タイトルにあります地域高規格道路釧路中標津道路について質問させていただきました。現在は頭の地域がなくなって、高規格道路釧路中標津道路だそうです。

現在工事中である道東自動車道の阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジまでの 17 キロメートルが今年度開通して、札幌市から帯広市、釧路市そして高規格道路釧路中標津道路の起点であります釧路町別保インターチェンジまでがノンストップで行き来できる高速道路の環境が整備されます。

しかし、高規格道路釧路中標津道路は平成 6 年に道路の計画が決定してから 30 年が経過し、事業としては平成 17 年度の春別道路完成以降、根室管内の工事は約 20 年間行われておりません。

根室管内の住民からは、高規格道路釧路中標津道路の整備はもう終わったのかという疑問の声もあります。また、期成会には釧路根室管内の市町村議会も期成会の一員として参加していることから、大きな問題と捉えて今回の質問に至りました。

最初の質問は釧根トライアングル整備構想 3 路線の優先順位について質問いたします。

北海道横断道路釧路根室間と高規格道路根室中標津間、そして、今回質問している高規格道路釧路中標津道路の 3 つの道路を合わせて釧根トライアングル構想という名称で根室市の石垣市長を議長とする釧根トライアングル構想連絡会議が、昨年限根室地方総合開発期成会の釧路、札幌、東京の陳情活動と併せて要望を行っております。

3 年前、関係する根室管内 4 町として、緊急度重要度が高い釧路中標津道路整備の要請を優先的に行うべきと質問をしましたが、優先順位を決めるべきではなく、整備が必



要な道路から順次進めていくと町長から御答弁いただきました。

しかし、昨年6月定例会では、松村議員の国道272号線標津中標津間の高規格化の早期実現についての一般質問に対して、町長は優先順位はカーブが多く交通停滞を招いている根室中標津道路の中春別中標津間ではないかと考えているとの御答弁でした。

また、昨年11月9日には国土交通省、財務省、地元選出国會議員に対して、北海道横断自動車道根室線の整備促進に関する要望として、釧路根室間の単独要望活動を根室市の石垣市長とともに西村町長も同行して行われています。

この要請活動は、例年行われているようで、誰が見ても釧路根室間の事業に力点が置かれていることは明かです。現実的にトライアングル構想の3つの路線に対する優先順位が3番目に位置付けされているせいか、町長の施政方針にも行政報告にも高規格道路釧路中標津道路という名称は、全くと言っていいほど出てきていません。

町長は高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会の会長として、このような状況で期成会を構成する根室管内の標津町、羅臼町、別海町の各行政機関や議会、経済団体が納得していると思われるのか見解をお聞かせください。

#### 【答弁：町長】

高橋議員御質問の釧路トライアングル整備構想3路線の優先順位について御答弁申し上げます。

まず、高規格道路釧路中標津道路の整備状況につきましては、釧路トライアングル整備構想連絡会議において、根室地方総合開発期成会との合同要望により、令和3年3月に事業化が決定しました上春別防雪事業が本年度よりポンオンネベツ川橋下部工事から着手されます。

また、上春別と西春別の一部であります約2キロの切削オーバーレイが本年度行われる予定でありまして、釧路開発建設部へ陳情しておりました大型農業機械等の通行により損傷している路肩の修繕につきましても、順次着手されているところであります。

釧路トライアングル整備構想は、高規格道路である北海道横断自動車道根室線、釧路中標津道路、根室中標津道路の3路線と道東縦貫道路の整備促進を図り、都市機能を相互補完連携するネットワークとして官民挙げての取組を推進するもので、いずれの路線も釧路根室圏域の振興発展に欠かすことの出来ない重要な社会基盤として、3路線それぞれの早期対策を講じる必要性を踏まえて陳情要望を行っております。

また、北海道自動車道釧路地区早期建設促進期成会と合同で実施しております北海道横断自動車道根室線の整備促進に関する要望につきましては、私は北海道横断自動車道釧路根室間建設促進期成会の副会長であるとともに、周辺地域を商業圏域とする本町の持つ拠点性という特性から、根室管内全体の振興発展することが重要であるとの考えのもと要望活動を行っております。

現状の整備の実態としては沿岸の防災上の観点から、北海道横断自動車道根室線、尾幌・糸魚沢間の事業が進められておりますが、議員が申します釧路中標津道路の優先順位が3番目に位置付けされているとは全く考えておりませんし、私も釧路中標津道路整備促進期成会会長として、釧路中標津道路の重要性は議員同様十分認識しております。

整備においては一見遅々として進展していないかと感じるかもしれませんが、前段説明のとおり、要請活動が実を結び一步一步着実に進んでおり、引き続き全力を尽くして取り組んでまいりますので、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

**【質問：高橋 善貞 議員】**

9番、高橋善貞です。私の質問は、高規格道路の釧路中標津道路の整備についてお聞きしているので、国道272号の維持管理工事を質問しているわけではありません。

住民側からすれば全く公表されていない、今お話のあったポンオンネベツ川橋下部工事の着手が高規格道路の一環として工事するとは思えないでしょうし、答弁にありました約2キロメートルの切削オーバーレイ工事は、明らかに国道272号の舗装補修工事なんです。

住民が疑問に思うのはなぜ3つの道路のうち、釧路根室道路だけが町長は霞が関の中央省庁まで直接要望に行くのか。これと併せて根室中標津道路の優先順位が高いと発言した真意です。町長の行動と発言が優先順位を3番目に位置付けされているとは思いませんか。

**【答弁：町長】**

はい。釧路中標津道路の整備につきましては新聞にも出ましたとおり着実に進んでいると思いますし、当然道路ですので使い勝手の悪いところは直していただくのは当たり前でありますし、そのことが地域の産業促進にも役立つというふうに思っております。

道路の順位についてということでもありますけれども、これはそれぞれの、今防災上の観点が非常に高いということもありますので、そういったタイミングを見計らってこれは要請するものでございますので、決してどの路線が勝っている、勝っていない、順位が付いているとは私は考えておりません。

**【質問：高橋 善貞 議員】**

9番、高橋善貞です。再々質問させていただきます。

今、防災、釧路と根室の間の海岸線の防災のことを強く言っていると思うんですが、防災を観点に高規格道路を考えますと、いいですか。対馬海溝型地震としての根室沖地震があるんです。それともう一つ、内陸型地震としての標津断層帯地震があります。今年の3月定例会で質問したとおり、発生確率は変わらないんですよ。被害想定もあえ

て言うなら、新たな災害の地域防災計画にも書いてありますが、被害想定をあえて言うなら、中標津町はこの2つの地震のリスクを抱えているって言っても過言ではないと思います。

災害を根拠にして釧路根室道路、釧路町、厚岸、浜中、根室までの道路を優先しているとするんだったら、それは私は間違いと思うんですけどいかがでしょうか。

**【答弁：町長】**

考え方はいろいろあるかと思いますが、それぞれタイミングがあるように、しっかりと要請をしながら、3本の道路につきまして整備促進を進めてまいりたいと考えておりますので、御理解をお願いいたします。

**質問 釧路中標津道路の重要性を再認識すべき**

**答弁 地域の人々の生活や命を支える重要な道路と認識しています**

たかはし よしさだ  
9 番 高橋 善貞 議員

**【質問：高橋 善貞 議員】**

2 番目の質問は、釧路中標津道路の重要性を再認識すべきではないだろうかという質問です。

過去から質問で申し上げたとおり、この道路は中標津町だけでなく羅臼町、標津町、別海町が釧路市へ患者を救急搬送、高度医療を受けるための命の道路と言われていました。これはドクターヘリが飛ばない夜間や悪天候の時に頼る道路は国道 272 号しかないからです。

釧路中標津道路が高規格道路として整備されれば走行速度も変わります。5 分でも 10 分でも短縮できれば助かる命があるからで、これは中標津町よりも時間を要する標津町、羅臼町では深刻かつ重要な問題です。

また、基幹産業である酪農の生産物生乳は、毎日通年の運搬で暴風雪になっても停電になっても搾乳は続けなくてはならないことは酪農地帯の常識です。さらに酪農経営に必要な飼料資材、また、海産物もホタテ、秋サケなどを運ぶ産業道路として、釧路西港のバルク港湾整備や釧路環状道路整備が進み、ますます高規格道路、釧路中標津道路の重要性が高まってきております。

このような現在の状況を考えると、私は3路線のうち、釧路中標津道路の重要度は非常に高いと思いますが、改めて町長の見解をお聞かせください。



【答弁：町長】

2点目の御質問であります釧路中標津道路の重要性を再認識すべきに御答弁申し上げます。

釧路中標津道路は議員が言われますとおり、釧路根室圏域と国際バルク戦略港湾である釧路港を結ぶ物流ルートであるとともに、特に管内4町にとっては、釧路市での三次医療を受けるための、地域の人々の生活や命を支える重要な道路であることは十分認識しております。

また、北海道横断自動車道根室線、根室中標津道路につきましても、防災、医療、輸送、産業、観光において、釧路根室圏にとって重要な道路であり、これら3路線について釧路トライアングル整備構想連絡会議のもと、釧路管内一体となり整備促進に向けた要望活動を行っております。

1点目の御質問で答弁申し上げましたとおり、いずれの路線も広域分散型の根室釧路圏域の振興発展に欠かすことの出来ない重要な社会基盤でありまして、引き続き、釧路中標津道路整備促進期成会の会長として、釧路中標津道路の重要度、早期対策を講じる必要性について陳情要望を行ってまいりますので、御理解を賜りますようお願いいたします。

【質問：高橋 善貞 議員】

9番、高橋善貞です。再質問させていただきます。

町長はここまで重要性が分かっているけれども、釧路中標津道路は他の2つの道路と同じ釧路トライアングル整備構想連絡会議から抜け出せないような何か理由はあるんでしょうか。釧路中標津道路の期成会の会長として、中標津町を含めて、先ほどから言っています羅臼町、標津町、別海町の医療、産業、観光を支える幹線道路であるこの高規格道路釧路中標津道路の要請を、毎年行っています根室地方総合開発期成会の要請活動に併せて行うだけで良いとお考えでしょうか。今後のことも含めて答弁をお願いします。

【答弁：町長】

はい。御質問に御答弁申し上げます。

要望につきましては、基本的には釧路トライアングル構想、それから根室総合開発期成会の要望で要望するというのが実際でございますが、場合によりましては、その路線です、工事進捗に関しましては、根室釧路道路のような状況も場合によっては発生するというふうに考えております。その時期をしっかりと見逃さないように、今後とも要望活動を続けていきたいと考えております。以上です。

**質問 道東道（阿寒 IC～釧路西 IC）開通効果を活用した誘客PRとは**

**答弁 関係機関団体と連携し地域の魅力発信に努めてまいります**

9番 たかはし よしさだ 高橋 善貞 議員

【質問：高橋 善貞 議員】

9番、高橋善貞です。3点目の質問は、道東道阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジまでの開通効果を利用した誘客のPRについてです。

今年の3月定例会の施政方針において、町長は珍しくこの道東自動車道に触れられ、開通後は国道272号線に効果があることと併せて、根室中標津道路など他の計画路線に対する早期整備促進を強く要望してまいりますと、力点は根室中標津道路なんです、つい本音が出たのかもしれませんが、7年前の質問では、釧路町別保インターチェンジから根室管内四町を中心とした知床方面に向かうか、太平洋沿岸の釧路管内を通して北方領土の根室市に向かうか、道東道が開通する前に知床ナンバーの7町でPRに取り組んではどうですかという内容でした。

答弁は釧路管内で実施しているキャンペーン、ウェルカム道東道オール釧路魅力発信協議会と連携した取組を含め検討したいとのことでしたが、何もやっていません。

開通後になって今さら何をしたいのかよく分かりませんが、今まで何もしてこなかったわけですから、場当たりのどっかのサービスエリア、パーキングエリアで地場産品の販売などを行わず、先ほどから言っている根室市が過去から釧路根室道路の単独要請活動を実施しているように、高規格道路釧路中標津道路の単独要請活動を期成会として行っていただきたい。

期成会の会長としてこの道路整備への本気度をお示しいただきたいのですが、町長のお考えをお聞かせください。

【答弁：町長】

3点目の御質問の道東道阿寒インターチェンジ、釧路西インターチェンジの開通効果を活用した誘客PRとはについて御答弁申し上げます。

今年度中に予定されております阿寒インターチェンジから釧路西インターチェンジの開通は、根室管内への人的物的交流に大きな役割を果たすものと期待を寄せているところではありますが、特に誘客については地域に人を呼び込むための認知度と魅力を高める取組もあわせて行う必要があると考えております。

現在、私が会長を務めております釧路中標津道路整備促進期成会として、釧路開発建設部と連携の上、開通後の誘客PRに向けて協議を行っているところではありますが、釧

路中標津道路沿線自治体としても、観光資源をはじめ関係機関団体との連携の上、地域の魅力発信に努めてまいりたいと考えております。

釧路中標津道路が当地域の産業、医療、観光、防災、様々な面において、地域の人々が安心して住み続けていくための重要な道路であり、地域が発展するためには整備促進は欠かせないものであることは認識しております。

新たに整備区間の選定においては、国が開発計画に掲げる重点施策を踏まえ、地域の交通課題等の把握、分析、妥当性、緊急性を含めた整備の必要性や整備効果に関する基礎的調査を経て、事業化に向けた計画段階評価へのテーブルに上げられるものであり、議員より御提案のありました釧路中標津道路整備の単独要請活動につきましては、事業主体である国や関係機関、管内自治体と歩調を合わせ行うことが必要であると考えております。

また、釧路根室管内の市町村長をはじめ、関係団体との合意を得て進めていくものと考えますので、日頃より行っております釧路開発建設部との情報交換などを通じ、釧路中標津道路の整備促進を強く働きかけるとともに、釧路中標津道路整備促進期成会の会長として引き続き、粘り強く要望活動を展開し機運を高めてまいりますので、御理解をお願い申し上げます。

**【質問：高橋 善貞 議員】**

はい。9番、高橋善貞です。再質問させていただきます。これが最後の質問になるかと思えます。

中標津空港は根室管内四町のインバウンド観光など大きな役割を果たしており、丘珠便の増便も影響しているせいか、最近は観光客もビジネス客も多くなってきて、宿泊施設の受入れが大変な状態だと聞いております。

インバウンド観光は飛行機の空路だけではなくて、高規格道路による自家用車、レンタカー、路線バスを利用した陸路も大きな役割を果たしています。

中標津空港には中標津空港利用促進期成会が年間約2000万円以上の事業予算で活動しております。

今後、高規格道路釧路中標津道路整備促進期成会の独自の活動が可能な事業予算を確保して活動していく必要があると思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

**【答弁：町長】**

両方とも、空港も道路も、この観光でございますので、観光振興に関する部分にしましては、それぞれの町の観光協会や根室管内の観光協会、そして、空港の利用促進もですね、これは観光目的で相当動いております。

したがって、観光目的にしましては、道路も空路も関係なく進めてまいりたい

と考えております。

また、先ほどから申し上げておりますトライアングル構想は、これは道路整備の方の要請でございますので、これはこれでまた別に考えたいと思っております。以上です。